

# 温室効果ガス排出量検証報告書

クミアイ化学工業株式会社 御中

## 1. 検証の対象

一般財団法人日本品質保証機構(以下、「当機構」という。)は、クミアイ化学工業株式会社が作成した「2025年度 GHG 排出量算定シート」(以下、「算定報告書」という。)が、同社により作成された「クミアイ化学 算定ルール」(以下、「算定ルール」という。)に準拠し、正確に測定、算出されていることについて第三者検証を行った。2025年度とは、2024年11月1日から2025年10月31日までの期間をいう。

検証の目的は、算定報告書を客観的に評価し、同社の2025年度の温室効果ガス(以下、「GHG」という。)排出量算定の信頼性をより高めることにある。

## 2. 実施した検証の概要

当機構は、「ISO14064-3」に準拠して検証を実施した。本検証業務の対象活動範囲は Scope1,2(ロケーション基準及びマーケット基準)の CO<sub>2</sub>、CH<sub>4</sub> 及び N<sub>2</sub>O 排出量、Scope3 の 10 カテゴリー(カテゴリ 1,2,3,4,5,6,7,9,12,13)の GHG 排出量であり、保証水準は「限定的保証水準」、重要性の量的判断基準値は検証対象の総排出量における5%とした。また、本検証業務の対象組織範囲は、クミアイ化学工業株式会社及び国内グループ会社 計7社(生産関連11拠点、非生産関連47拠点)である。

検証では、現地検証に先立って算定ルールの確認のために統括機能検証を実施した。続いて、Scope1,2 の GHG 排出量についてはサンプリングにより国内3拠点にて現地検証を実施した。現地検証では、各拠点における算定対象範囲の確認、排出源及びモニタリングポイントの確認、算定・集計体制の確認、GHG 排出量データについて根拠資料との突き合わせを行った。

Scope3 の GHG 排出量に関する検証では、サンプリングにより国内2社にて、算定ルールの確認、算定対象範囲の確認、算定シナリオとアロケーションの確認、算定・集計体制の確認、排出量データについて根拠資料との突き合わせを行った。

## 3. 検証の結論

検証の対象とした、算定報告書の2025年度の GHG 排出量について、算定ルールに準拠せず、正確に算定されていない事項は発見されなかった。

## 4. 留意事項

算定報告書の作成責任はクミアイ化学工業株式会社にあり、GHG 排出量の検証の結論に関する責任は当機構にある。クミアイ化学工業株式会社と当機構との間には、特定の利害関係はない。

東京都千代田区神田須田町一丁目25番地

一般財団法人日本品質保証機構

常務理事 浅田 純男

